

工事写真報告書

工事番号 平成 26 年度

工事名 I様邸

工事箇所 屋根・外壁・その他塗装工事一式

工事住所 北九州市 八幡西区 上上津役

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外觀



外觀



外觀



外観



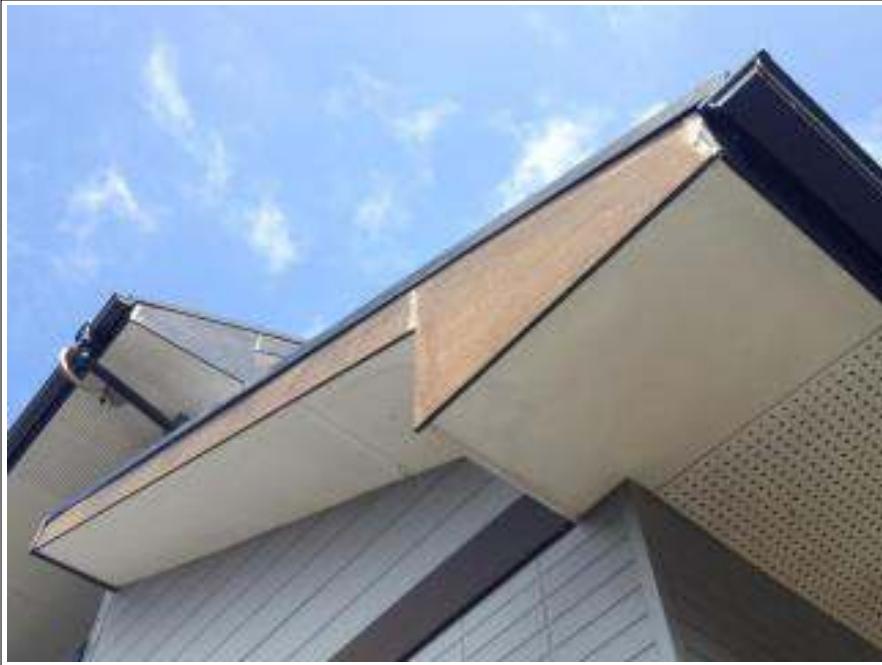
屋根

この素材はセメント:アスベストが
85:15で作られています。
劣化し割れや反りがひどくなり葺き
替えとなると、アスベストが入って
いるので処分費がかなりかかります
ので、早めの塗装と維持をお勧めを
します。



屋根

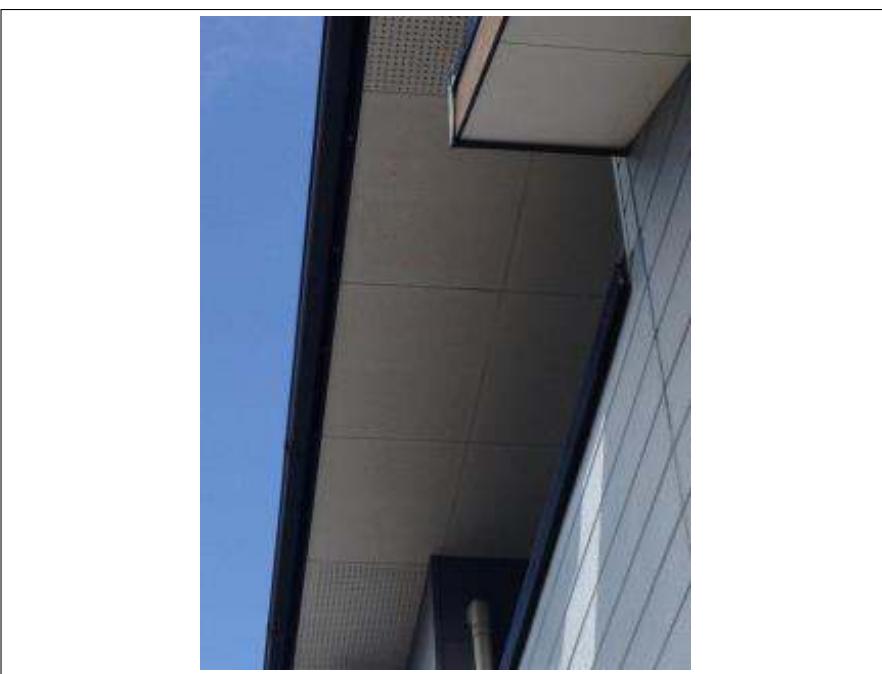
今回はソーラーパネルの下は塗装を
しません。



破風板・鼻かくし

経年劣化しています。

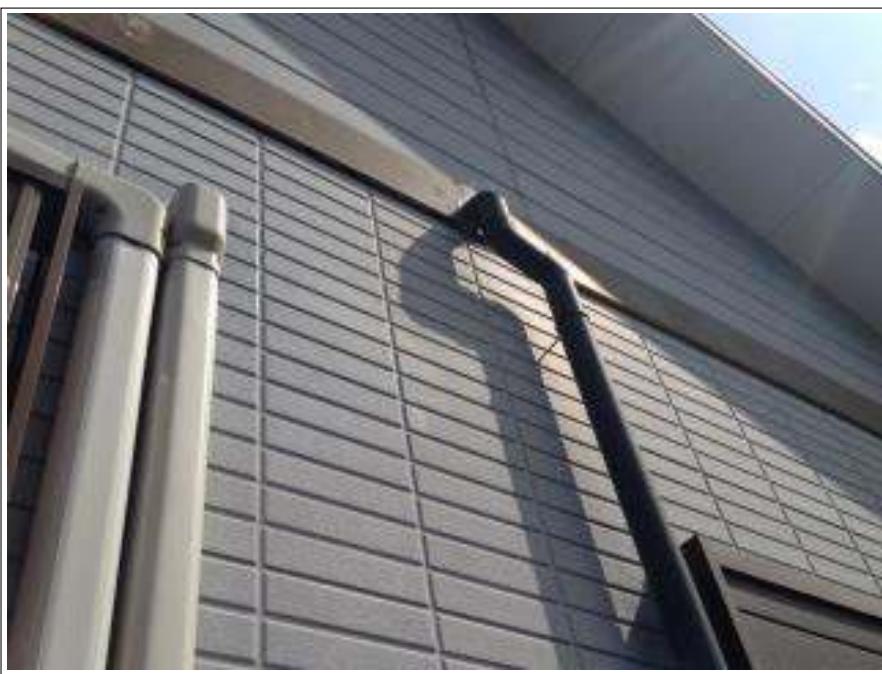
劣化すると腐食、お住まいの痛みにつながりますので、下塗り・上塗りをおこないます。



軒天

経年劣化しております。

この部分は通気性の良い軒天専用の塗装をしていきます。



樋・ダクトカバー

こちらは塩ビ素材になります。

劣化すると割れが生じたりすることがありますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。



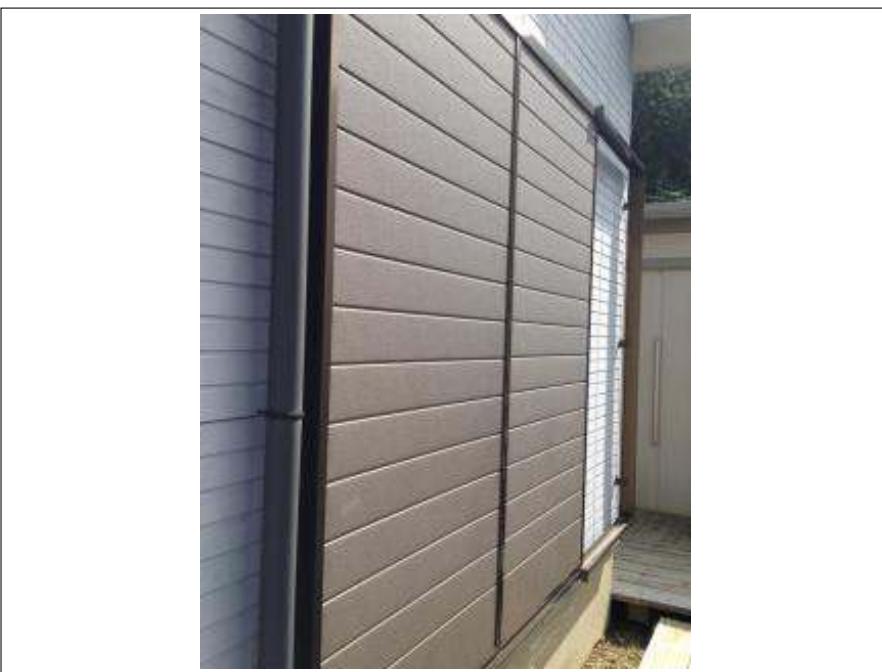
胴差し

旧塗膜が剥離をおこしています。
このまま塗装しても旧塗膜から剥がれる恐れがありますので、密着の悪い旧塗膜をケレン作業で除去し専用の下塗り・上塗りを行います。



胴差し

劣化し割れているところがあります。
この部分はシーリング補修をおこない、塗装をしていきます。



雨戸

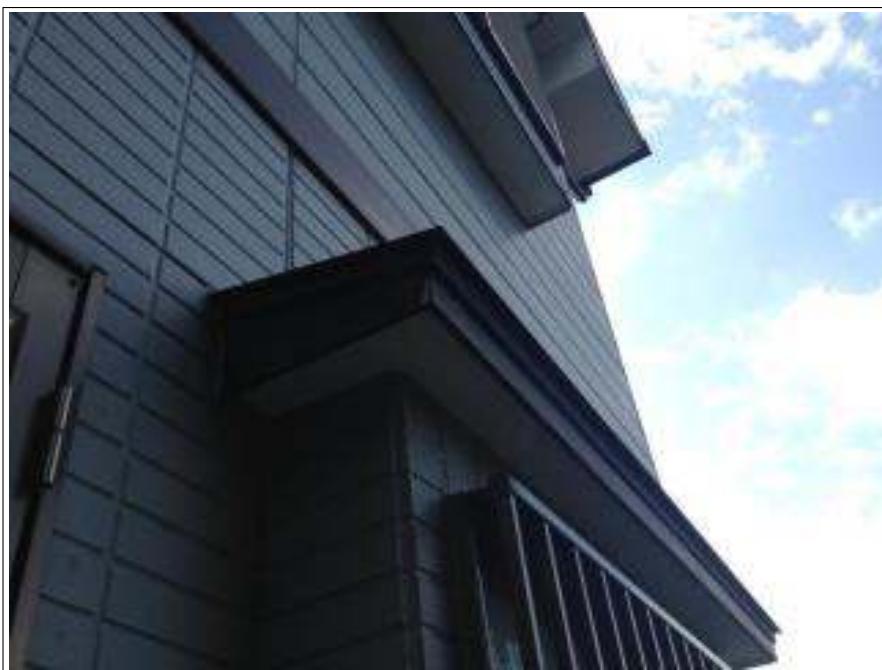
この部分は鉄、スチール素材になります。
劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



換気フード

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



小庇

同上



土台水切り

同上



基礎 クラック

アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。

中性化されたコンクリートは表面にヒビが入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながりますので、シーリング等で補修をおこないます。



外壁シーリング劣化部

シーリングの劣化が激しい部分は打ち替え補修をおこない、塗装をしていきます。



シーリング劣化部

見落としがちですが、サッシ廻りも劣化している部分がありますので、劣化している部分は打ち増しをおこない塗装をしていきます。



チョーキング現象

紫外線などにより塗膜の表面が劣化し、チョークの粉状のような状態になっています。

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。

作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号: 13100230

